



新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

日頃より、山形コンベンションビューローの活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年中は、ようやくコロナ禍からの回復が進み、現地での多くのコンベンションが開催されました。また、コンベンションの誘致支援活動についても首都圏への誘致活動や商談会へ参加するとともに、地元のコンベンション主催者と関連事業者との商談会や、地元大学でのコンベンション相談会を実施しました。

また、山形国際交流プラザの管理運営につきましても、昨年は久しぶりに特段の制限を設けることなく、多くの主催者の皆様からご利用を賜り、同時に多くの利用者からご来館をいただきました。

さて、本年は、日本呼吸療法医学会学術集会(2,500人)や私鉄総連定期大会(1,000人)、日本泌尿器科学会東部総会(2,000人)など約30件のコンベンションが開催されます。これらコンベンションの開催は、村山広域圏における地域経済の活性化や観光の振興をもたらすものと期待しております。

プラザの管理運営においては、引き続き、利用者の安全・安心を一番に考え、施設の利便性の向上に努めるとともにセールス活動を積極的に展開し施設の利用促進を図ってまいります。

これからも、コンベンションの振興を図るため、役職員一丸となって鋭意努力してまいりますので、皆様方のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

一般財団法人山形コンベンションビューロー

理事長 佐藤 孝弘 (山形市長)

令和6年コンベンション開催紹介 (前期)

第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会in山形

【期日】 令和6年6月1日(土)、2日(日)

【会場】 山形県立保健医療大学

【人数】 700~800人(県外650~700人)

【主催】 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会



大会長
藤井 浩美
(山形県立保健医療大学教授)

本大会は、全国の訪問リハビリテーションの実践や研究に携わっておられる医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士に加えて、関連職種が参集する学術大会です。

本大会は、これまでの訪問リハビリテーションのノウハウの蓄積をもとに、日本におけるさらなる発展を旨として、東北地方で初開催が決定いたしました。目玉企画は、「訪問リハビリテーションの未来」

二川 一男(日本ヘルスケア総合研究所 上席研究員・元厚生労働省事務次官)「地域の中での訪問リハビリテーションへの期待」;
川越 雅弘(埼玉県立大学大学院研究科/研究開発センター教授)の特別講演です。詳しくは本大会ホームページ(HP)をご覧ください。

大会HP; <https://plaza.umin.ac.jp/houmonyamagata24/index.html>



第46回日本呼吸療法医学会学術集会

【期日】 令和6年6月28日(金)、29日(土)

【会場】 美味求真の宿 天童ホテル、緑の迎賓館 アンジェリーナ、天童市民プラザ

【人数】 2,500人(県外2,000人)

【主催】 一般社団法人 日本呼吸療法医学会

日本呼吸療法医学会は、呼吸療法医学の進歩発展、普及と充実を目的とし、年に1回全国で学術集会を開催しております。今から15年前には、第31回学術集会が天童で開催されました。そこで、この15年の本学会の軌跡を辿りながら、新たな目標を設定し次の15年に向けての方向性を指し示す、そのような意味を込めて、学術集会のテーマを「標す(しるす)」としました。

6月は山形が全国に誇るさくらんぼの収穫期のどまんなかであり、他にも多種多様なおいしいものがあることから、参加者に是非「おいしい山形」を堪能していただければ幸いです。



学術集会HP

